

住民説明会の報告

1 そよ風トーク（町長と町民との意見交換）

平成 29 年 1 月 14 日～24 日まで、計 13 か所で開催。そのうち、災害対応に関する意見（一部質問）について、抜粋して記載。

（1）南コミセン（1月14日）

① 芽室小学校・芽室中学校は避難所として指定されているが、今回、水害に弱く危険性のある学校であることを初めて知った。昨年の台風では休校などの対策をされたと思うが、登校中に堤防が決壊すればあっという間に災害が起きると思う。

② 今までなかったことが昨年起きたということを見ると、脆さという面があることを改めて知った。その辺も踏まえて、シュミレーションして検討してほしい。東北の大震災でも、逃げる場所として正しいと思っていた場所で被害が起きた事例もあるので、あらゆるケースを想定してほしい。また、災害は複合要因もあるので、あらゆるリスクを検証して、少しでも安全な町づくりをしてほしい。

③ 美生川の河川敷のパークゴルフ場が壊滅し、復旧については当面予定がないと報告を受けている。しかし音更町は今年復旧予算を組んで復旧すると新聞報道された。芽室町において、美生川河川敷のパークゴルフ場は町民の利用価値が高いが、代替構想はあるのか。

④ 河川の氾濫の要因として、流木が流れてきて橋桁に引っ掛かり決壊させたとも思えるが、対策はどのようなのか。

⑤ 避難指示の連絡方法だが、放送は雨や風で全然聞き取れない状況だった。静かな時でも反響して聞き取りづらいが、あの時は夜だったし窓も閉めていたので聞きづらかったので、今後検討してほしい。

⑥ 避難指示の連絡について該当する町内会長に連絡したと言うが、町内会の防災組織を活用したのだと思うが、うまく活用できたのか。

⑦ 住宅浸水した地域は、過去にも浸水した地域と聞いているので集中的に対応する必要があると思う。避難の連絡体制について、もう少し確実なものが

あった方がいいのでは。一時、各戸に端末を配布するという話も出たが、全戸でないとしても、あのゾーンとか、美生川の低い土地とか、浸水の恐れがある地域に対しては、他と区別してもいいので対策が必要なのではないか。

⑧ 職場が西工町で、水害のときも工場を動かしていた。芽室川の水位をインターネットで見たり、連絡がきたらすぐ避難をしようと状況を見ていたが、なかなか連絡が来なかった。最終的には直接連絡がきたが、事実に対して情報発信が遅かったのではないか。手段というより体制や考え方の問題ではないか。インフラが整ってもやり方が間違っていれば何もならないので、手順を間違わないようにしてほしい。

(2) 公民館（1月15日）

① 芽室町や清水町の災害ボランティアに参加した。水害で限定された地区だったため、汚泥処理という単純作業だった。今後、大地震や火災で広範囲の災害の場合はボランティア対応は様々な種類になると考える。

② 上美生の道路や橋の倒壊情報をもっとアピールすべきではないか。

③ 避難所の運営などには人手が足りなかったと思う。地域や町内会への呼びかけが必要ではないか。

④ 自分の町内会にも自主防災組織はあるが、個人情報との関係かは不明だが、町内全体を把握できていない現状がある。

⑤ 東6条3丁目付近では街頭放送の音が聞こえづらい。

⑥ 私は災害ボランティアに2回参加して公営住宅や個人住宅の泥だしをした。川付近の農家のイモなどが流されたと思う。高校生ボランティアを募るとかして町全体でイモを拾ったりできなかったのか。困った時にはみんなで助け合える芽室町であってほしい。土幌町では町職員が農家でイモ拾いをしている記事があった。

(3) 西コミセン（1月15日）

① 情報が全然遅くて自分は数時間孤立した状況だった。災害対策本部が設置されていたと思うが、連絡がきたのが31日の朝3時頃に川が決壊しそうだから地域の人に連絡してくれとの内容だった。外に出ると水が押し寄せて

道路に物が浮いている状態だった。もう少し早く情報が欲しかった。

② 今回の台風に関して言えば、広報車では全く聞こえないと思う。以前に農家にあった無線のような方法での確に知らせるほうが良い。

③ 町内会長をやっているが、避難連絡は非加入者にも伝える必要があるのか。連絡が伝わらないことを会長の責任にされては困る。

④ 今回の災害で水が出たのは仕方ない。でも疑問に思うのは美生川が先に避難勧告や避難指示が出て、芽室川の指示が遅かったことである。

⑤ 私の町内会は特に高齢者が多い地区である。明るい時間帯で勧告や指示を出してほしかった。

⑥ 防災無線機の話だが、全町という考えではなく早く設置できないか。美生川や芽室川付近の危険が高い地区だけでも早く導入できないか。議会でこの話はダメになった訳ではないのか。検証が終わったら改めて導入ができるのか。議会でこの話はダメになった訳ではないのか。検証が終わったら改めて導入ができるのか。是非、戸別受信機を一刻も早く導入して安心して生活がしたいと思います。

(4) 上美生 (1月17日)

① 今回の台風での避難所の設定はどうだったのか。工夫する必要があると思う。伏見地区では避難場所にさえ行けない状況だったので安全な避難場所を確保する必要があると思う。危険な橋を渡って何とか避難したとも聞いた。

(5) 中伏古 (1月19日)

① 災害時に広報車が回ったが聞こえなかったと言っていた。

② 見舞金は、同じ被害にあっているのに単身世帯とそれ以外でなぜ差がつくのかという声を聞いた。

(6) 毛根 (1月23日)

① 河川敷野球場の件。町営球場もあるが雨が降るとベンチ付近が水びたしになる。厳しい財政状況ではあるが整備してほしい。

(7)かっこう（1月24日）

① 取り残された人がいるということは住民も含めて認識が甘かったのでは。災害を軽く思っている人もいる。

② 自分は床上浸水したが、もう少し早く連絡していただきたかった。荷物を上げるなり対処できた。避難勧告も避難指示もなかったので何の処置もできなかった。

(8)渋山（1月24日）

① 芽室町には災害メールシステムはあると思う。私は御影に近い場所に住んでいるから清水町からの情報がどんどん入っているが、芽室町からは一回もなかった。後から聞いたら、被害のない地域に迷惑をかけるから出さなかったからだという。今あるシステムを使うことは出来なかったのかと思う。今後の教訓に活かしてほしいし、知らせたい人に知られる方法を考えてほしい。

② 役場の連携はどうだったのか。災害の時に川が溢れそうだと役場に電話したが、たらい回しにされたと聞いた。

③ スピーカーの音が聞こえなかった。聞き取りづらい。全戸に配るのはお金かかるし、町内会長や高齢者だけに配るとか受信機の導入を柔軟な形で早めに行なってほしい。

2 地域説明会

平成29年1月21日と28日に計4回開催

(1) 西地区コミュニティセンター（1月21日）

① 芽室川は隣町を起点に流れている。他町村との連携をどう考えるか。

② ピウカ川が氾濫した時には、下流の地域への被害も大きいと思う。その辺りをハザードマップマップでしっかりと想定してほしい。元町は、十勝川よりピウカ川の方が怖い。

③ ハザードマップがあるが、浸水する所を認識して家を建てているのか。本当に怖い思いをしたし、避難所生活は本当に疲れる。

④ 今回の災害について、町としても相当の予算を使ったと思うが、それが町民の負担になってくることはないか。

⑤ 家が浸水したため、役場に相談したら、電気もなく、掃除もしなくてはいけない住宅を紹介された。あの状態でそんな余裕はなかったため、アパートを借りた。そのような対応は冷たいと思う。

⑥ 災害関係で役場に聞きに行っても、窓口にいる職員がすぐに回答できる状況ではなかった。

⑦ 災害は台風だけではないと思う。地震や飛行機事故なども考えられると思う。

⑧ 避難施設について、足が不自由な人など、障がいのある方への対応が不足しているのではないか。今回避難施設でその辺を相談したら「分かりません」と言われた。

⑨ 避難施設にいるときに、被害状況の情報が全く入らなく不安だった。

⑩ 町と町民とで何回も話し合いをするのが大切である。

⑪ ハザードマップは、一枚もので家庭の壁に貼っておけるようなものがよい。また、今回の浸水の高さをポールなどに印を付けて表示して、どこまで浸水したかを忘れないようにしてほしいと思う。

(2) ふれあい交流館（1月28日）

① 災害時に、災害状況に関するいろいろな情報が流れてこなかった。

② テレビで避難所での女性にかかるストレスに関する特集がされていた。芽室町も女性に配慮した避難所の運営を日頃から考えておいたほうがよいのではないか。

③ 河北地域の住民の中に、十勝川を渡って総合体育館に避難した人がいたと聞いた。大変危険を伴うものであり、避難場所と地域との関連の見直しを検討すべきではないか。

④ 避難場所の運営について、Wi-Fi環境の整備も必要だが、携帯電話の充電用電源の確保も必要となる。現状の限られた設備で、充電の時間制限等のルー

ル設定をし運用するのか、または、電源設備をある程度確保しておくといった事前の対策が必要と思う。

⑤ 災害時における民間企業との協力で解決できる課題は数多くあると考える。

⑥ 芽室町でドローンを持つことに反対ではないが、技術力のある民間企業の手を借りる方がベターな部分もあるのではないかと考える。